

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

低コスト造林 現地検討会を開催



現地でコンテナ苗及びセラミック苗の植栽体験をする参加者（岡山森林管理署）



参加者を前に挨拶する赤木森林整備部長（岡山森林管理署）



マルチキャビティコンテナ苗（左側）、セラミック苗（右側）

【岡山森林管理署】平成24年2月28日（火）に、岡山森林管理署管内の土倉山国有林において、マルチキャビティコンテナ苗（以下、「コンテナ苗」という。）とセラミック苗の植栽による低コスト造林現地検討会を開催し、県・市・森林組合・種苗組合・林業事業者から55名と岡山・兵庫・鳥取の各森林管理署から35名、合計90名が参加しました。

この低コスト造林現地検討会は、平成22年10月の兵庫森林管理署管内での開催を皮切りに今回で4回目となり、苗木の初期生長が良いと見込まれるコンテナ苗及びセラミック苗を植栽することにより、下刈回数を省略できるなど、従来の普通苗植栽より約30%の経費削減を見込める画期的な造林方法として普及を図っていくものです。

当日は冒頭、近畿中国森林管理局の赤木森林整備部長の挨拶の後、担当職員からコンテナ苗及びセラミック苗の特徴と概要の説明があり、植栽器具を使った植栽体験が行われました。

植栽体験を終えた後の意見交換では、参加者からは、コンテナ苗及びセラミック苗の早期普及を望む

声が多く聞かれたほか、「下刈等の保育作業がどこまで減らせるかが今後のポイントとなる」「苗木の成長量などについても、今後も継続して追跡調査が必要」など、多くの意見を聞くことが出来ました。

近畿中国森林管理局においては、今後も様々な条件下での実証調査を実施してデータを蓄積し、低コスト造林の技術開発及び普及に努めていきます。



参加者全員で植栽体験をする様子（山口森林管理事務所）

昨年11月には山口森林管理事務所管内の滑山国有林において、伐採と植付を一括して発注した事業地をフィールドに、林業事業者をはじめ署等の職員総勢72名を参集して3回目の検討会を実施しています。

地域ニュース

「地域との交流 六条ふれあいまつり」に参加 ～森林の大切さをPR～

【奈良森林管理事務所】 奈良森林管理事務所が所在する校区の六条小学校グラウンドにおいて、「第7回六条ふれあいまつり」が開催され、当所からも森林体験コーナーを出店し、木工教室や丸太切り体験、パネル展示による国有林のPRを行いました。

「六条ふれあいまつり」は、住民同士のふれあい交流、自然環境やゴミ問題、さらには地域防災等について様々なイベントを通じて考え、行動につなげる取り組みとして、自治会や社会福祉協議会が主体となり開催されています。

当所もこの「六条ふれあいまつり」へO.F会（元森林管理署退職者）の協力を得ながら参加し、地域住民の方々との交流を深めることにより、奈良森林管理事務所の取り組みや地球温暖化対策における森林の役割や森林整備の重要性、国際森林年の趣旨などを地域の方々に理解していただく良い機会となりました。



各々の木工作品を作りをする親子

親子で丸太切り体験をしている様子



木工教室では、「自然の材料を使って自分だけの一品を創る」をテーマに、初めに材料（小枝、ドングリ等）が森林から採れた自然の物であることやドングリの違いなどの説明を受けたあと、木の輪切りや木片、ドングリや松ぼっくりなどを使い、それぞれが独創的な作品づくりに励んでいました。

丸太切り体験では、スギやヒノキだけでなく、サクラやコナラ、リョウブなど色々な樹種を準備し、自分で切った輪切りの重さ当てクイズや自分だけの輪切りのメダルを作るなどして楽しんでいました。また、小さいお子さんがお父さんやお母さんと力を合わせて丸太を切るなど、ほのぼのとした光景も見られました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/nara/>

列状間伐の実施箇所を視察(マンガ谷国有林)

【兵庫森林管理署】 京都府の南丹・京丹波林業振興会の会員 18 名が、当署のマンガ谷国有林と阿舎利^{あじやり}国有林の列状間伐実施箇所を視察しました。

今回の視察は、新たに作成する森林整備計画や森林経営計画が、地域の林業振興に役立つものとなるよう、先進の間伐作業システムを学ぶ研修会を開催し、現地に適した作業システムを習得することで、市町村、森林組合等による計画作りを円滑に進めることを目的として研修会を当国有林で開催したものです。

次長及び企画官から、当署における列状間伐における基準や作業システム等について説明を行いながら案内し、会員から列状間伐の選木の方法や搬出にかかる経費、路網の作設方法等について質問し、熱心にメモを取りながら視察されました。

当署では、民有林に先駆けて行っている事業等を積極的に紹介し、森林・林業の再生に向け引き続き取り組んでいくこととしています。



列状間伐について、職員の説明を聞く参加者

列状間伐数年後の林内の現況を見学する参加者



関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hyogo/>

森林教室でオリジナル紙芝居を披露

【山口森林管理事務所】山口県下松市の笠戸島において、江の浦小学校の児童を迎え森林教室を実施しました。

同校は、裏山の国有林で記念植樹を行ったのを契機に、野生生物の観察や野鳥保護活動を行うフィールドとして国有林を利用する「※遊々の森」協定を平成21年に当所と締結しました。

ところが、この箇所はクズが繁茂しやすく、夏場には立ち入ることができないほどのつるに覆われてしまっています。また、つるが植栽した木にからまり枯れてしまうおそれもあります。このため、「遊々の森」を快適に利用できるよう、ボランティアの方々と協力しながらクズの防除に取り組み、試行錯誤の末、市販の防草シートを敷きつめる方法でクズをほぼ完全に防除することに成功しました。今回の森林教室は、最後のシート敷設作業に合わせて行い、児童たちにも作業を体験してもらおうことにしました。

初めての肉体労働にとまどいながらも、児童たちの作業に打ち込む姿は、クズに負けずに生長していくであろう木々に自分たちの未来を重ね合わせていたのかも知れません。

クズの生長を防止するための防草シート張りを体験する児童達



職員の手作り紙芝居を熱心に聞く児童達

作業が終わった後、敷いたばかりの真新しいシートの上で間伐をテーマにした紙芝居が上演されました。

この紙芝居は当所の職員が手作りしたもので、ヒノキの「ヒノキ子くん」が暮らす森で起こった出来事を通じて、間伐の大切さを楽しく学ぶという内容になっています。

演劇部の経験を活かした当所若手ホープの熱演（怪演？）に、児童たちはすっかり引き込まれていました。

紙芝居に続いて、樹木の名前の由来や変わった名前を当てる「森のなぞなぞ」にチャレンジしました。

なぜか引率の先生に大受けでしたが、答えに迷う先生たちをよそに、児童たちは次々と正解し、出題者を驚かせていました。

遊々の森とは：学校などと森林管理署長などが協定を結ぶことにより、さまざまな体験活動や学習活動を行うフィールドとして国有林を継続的に利用できるようにする制度です。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/yamaguchi/>

「森林体験モニターツアー」を実施

【広島北部森林管理署】広島北部森林管理署がアドバイザーとして、協力している庄原市比和地域森林・林業体験促進対策検討委員会は、庄原市比和町及び比和町内において、森林体験モニターツアーを実施しました。

ツアーの1日目は、登山者が多く訪れる毛無山の頂上を目指しました。

途中、歩道沿いある地元に有名な滝を眺めながら、自然を堪能し山頂へ到着。やや雲は多かったが、吾妻山や道後山などが見渡せました。

ツアーの2日目は、庄原市口和町内にある釜ヶ峰山国有林のアベマキ保存林（5.41ha）を、参加者12人が見学しました。



大人2人で手を広げて幹周りの大きさに実感する参加者

アベマキの幹の肌を触って感触を確かめ合う参加者



関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hirosimahokubu/>

口和町湯木にある釜ヶ峰山森林浴公園で、アベマキ保存林の概要を当署職員が説明しました。

参加者らは、アベマキの用途などについて熱心に質問したり、アベマキのごつごつした肌に触り、感触を確かめていました。約40分かけて公園内の森林浴や自然観察を楽しみながら、遊歩道の上下に群生する100年をこえる大きなアベマキの大木に、驚嘆しながら釜ヶ峰山をあとにしました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hirosimahokubu/>

きゅうしょうざん
旧城山国有林のクリーン作戦を実施

【鳥取森林管理署】鳥取市内の「^{おうだに}櫛谷公園」近くの旧城山国有林の「保安林管理道」で平成23年度鳥取森林管理署主催「旧城山クリーン作戦」が行われ署員10名とOF会8名の合計18名が参加して行われました。

一体は国道に隣接しかつ市民の憩いの場であり、「自然休養林」に指定されています。

また、市民のウォーキングコースとなっているため樹名板を設置しています。夏の豪雨で樹名板が落下したり、溝が土砂と落ち葉で埋まるなどしており、参加者は汗まみれになり作業を展開しました。

時折、通るウォーキングをしている市民に署員が挨拶をかけると口々に「ありがとうございました!」という笑顔と挨拶が返ってくるなど、参加者は達成感あふれる1日となりました。



落ちた樹名板を直すOF会と職員



道路の横断溝に埋まった落ち葉・土砂をスコップ等で取り除く様子

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/tottori/>

きたがた
北潟国有林で自然体験活動を実施

【福井森林管理署】福井県あわら市の北潟国有林「遊々の森」において、自然体験活動を実施しました。

この行事は、自然体験を通じて互いに思いやる心の醸成を目的として企画し、あわら市立北潟小学校全児童59名及び引率の先生方が参加しました。

子どもたちは、「木の名札づくり」や「カモフラージュ」、「同じものを見つけよう」の各コーナーで、当署職員や森林ボランティアの指導を受けながら、ものづくりの楽しさを覚えたり、自然との一体感を得るなどの貴重な学習をしました。



生徒達が集まって、注意事項等を聞いている様子

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hukui/>

お知らせ

森林のギャラリー（局庁舎1階）

毎年全国で開催されている全国植樹祭が平成24年度は山口県で開催されます。

その植樹祭をPRするため近畿中国森林管理局の森林のギャラリーにおいて、全国植樹祭のPRグッズ等のコーナーを設置しました。



【3月の展示スケジュール】

3/21~3/27

オランダ風ペインティング（作品展示）

【手描きライクハート】